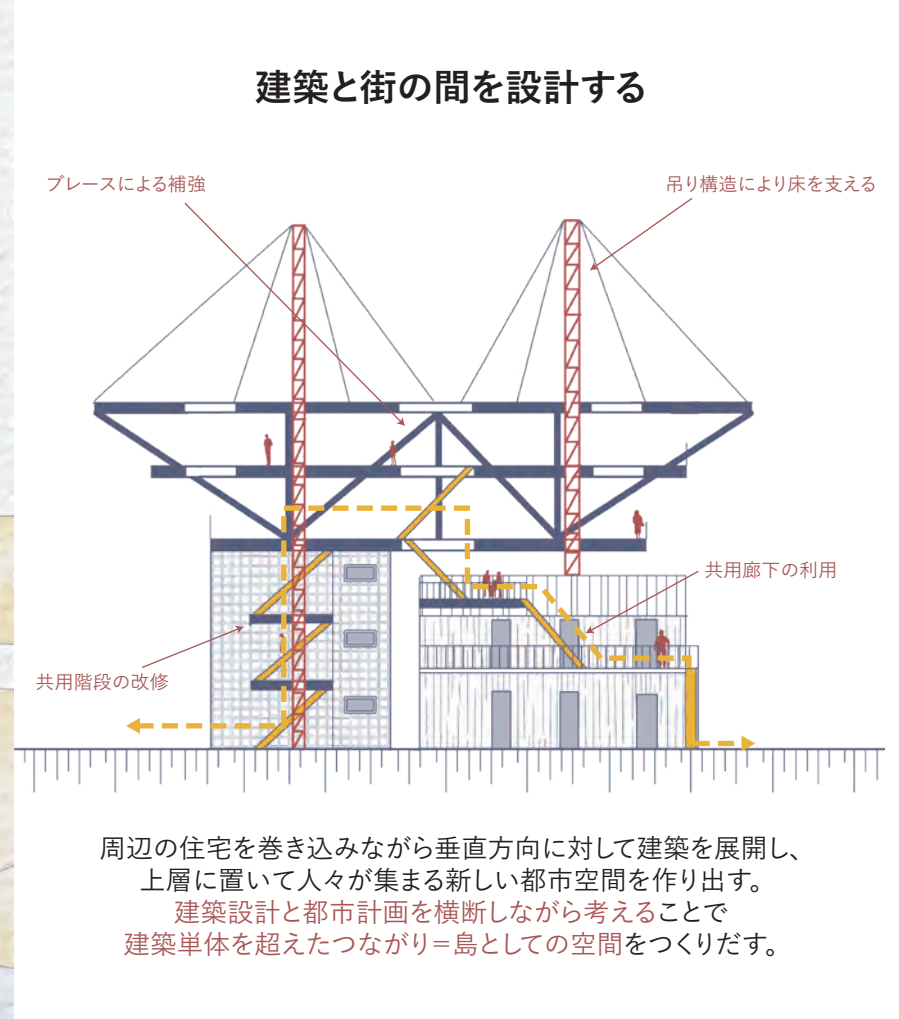


Background **島は街としての建築の繋がりを生み出し連続したシーケンスをまちに与える** **Method**

東京湾に浮かぶ小さな島一個島

東京都中央区にある佃は江戸時代に大阪の漁師が移り住んだことでできた島である。「島」と言う陸と物理的に断絶された環境は大都市の中にありながらも漁師独自の文化や生活景が形成された。しかし近代化によって島は埋め立てられ徐々にその独自性は失われていくことになる。

かつての佃島での人々の生活を現代において再び獲得することができないだろうか？



Question

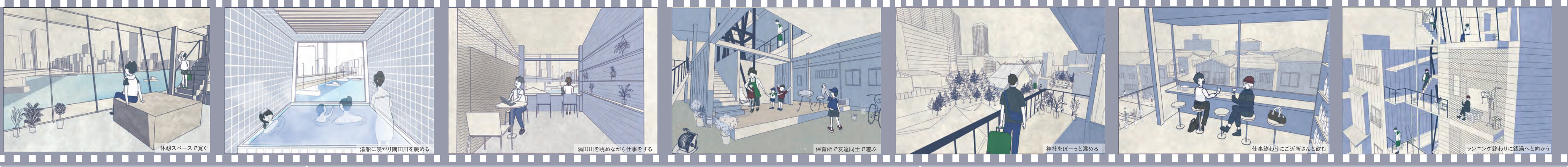
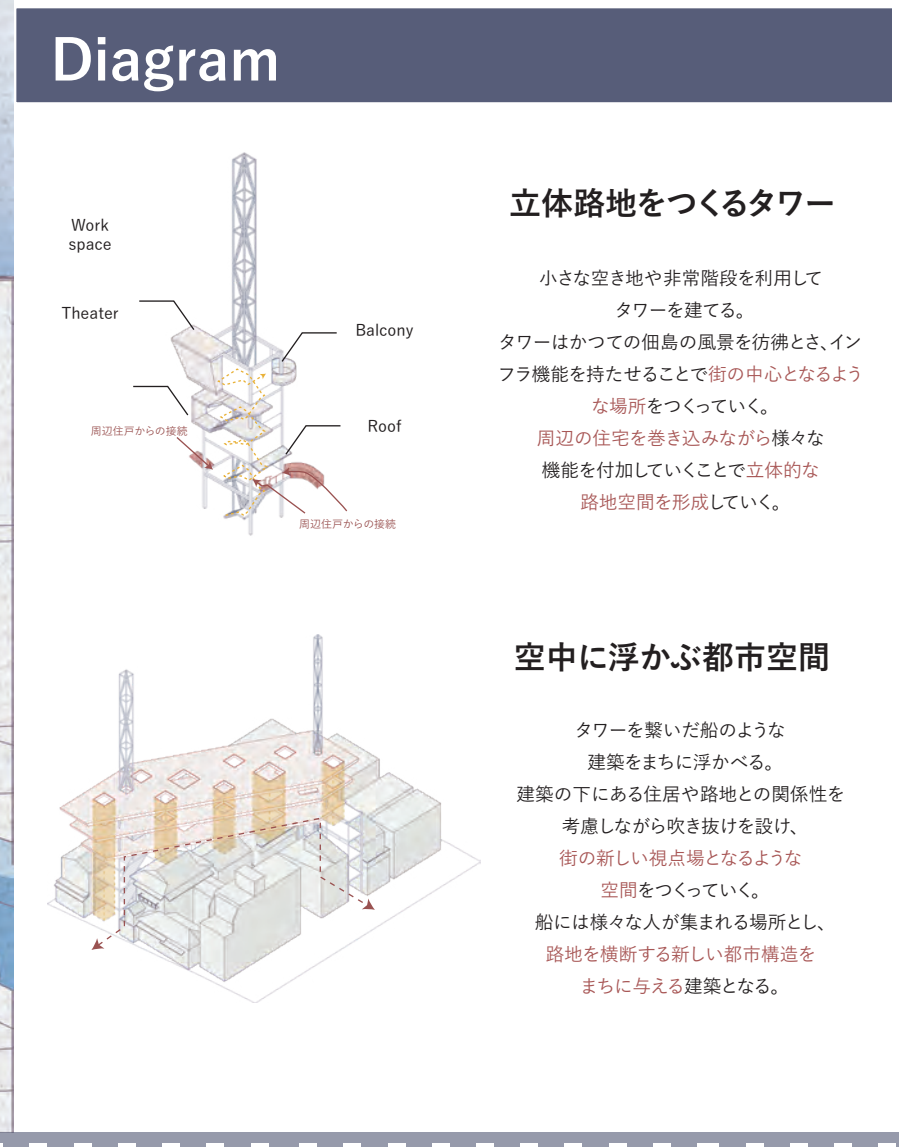
東京の都市空間

東京は新宿や渋谷、大丸有というエリアで分けられ、それらが島のように集まった都市と捉えることができる。しかし、それは資本主義のもとにつくられた都市空間であるため、人と人との関係性が失われた冷たい都市空間ができてしまっている。

イメージとしての東京
メディアによる断片の集積
島嶼化した東京
エリアブランディング化

実際の東京
均質な箱の集積
均質な都市空間
アノニマスな関係場所に対する差別的欠如

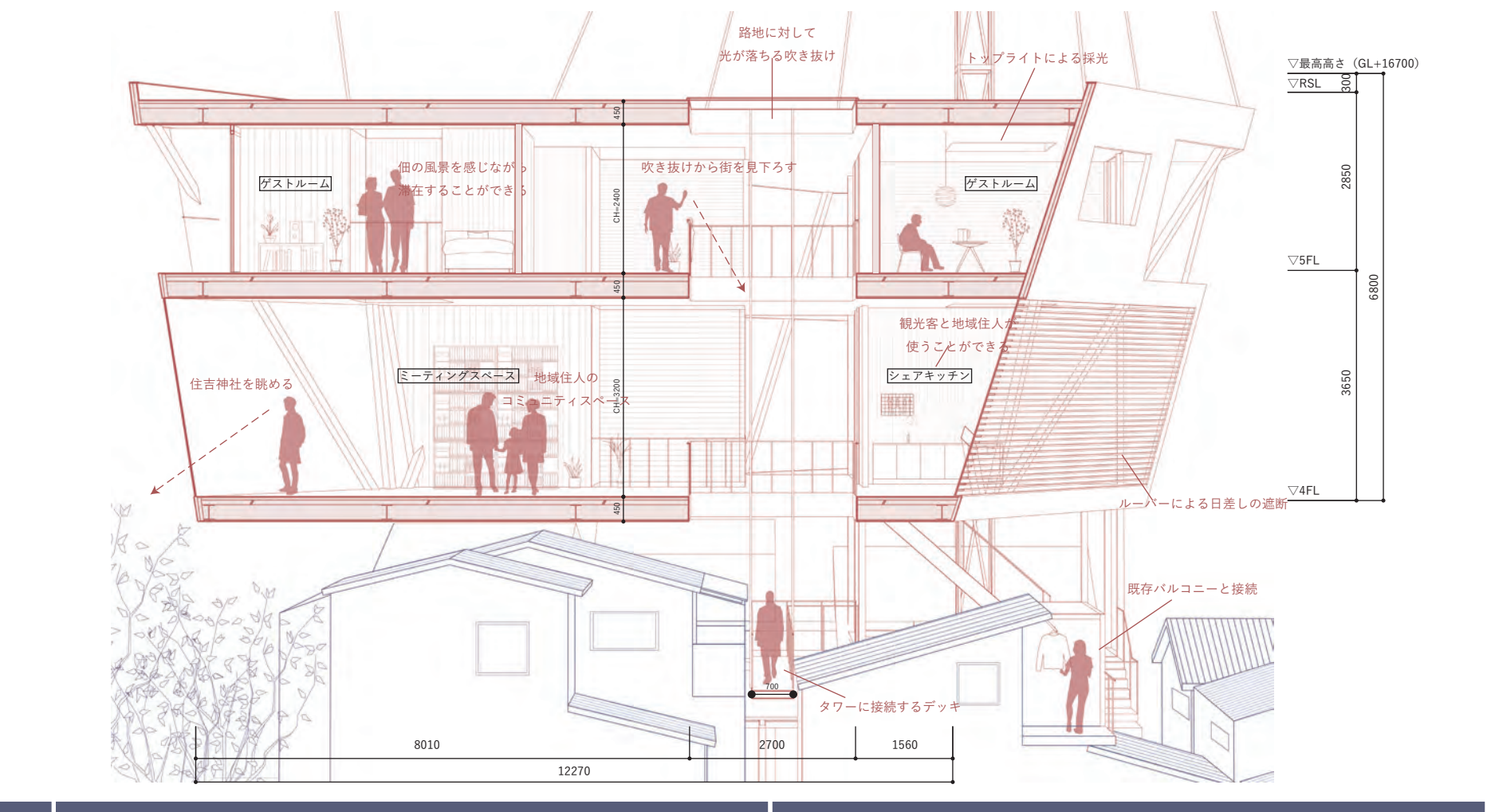
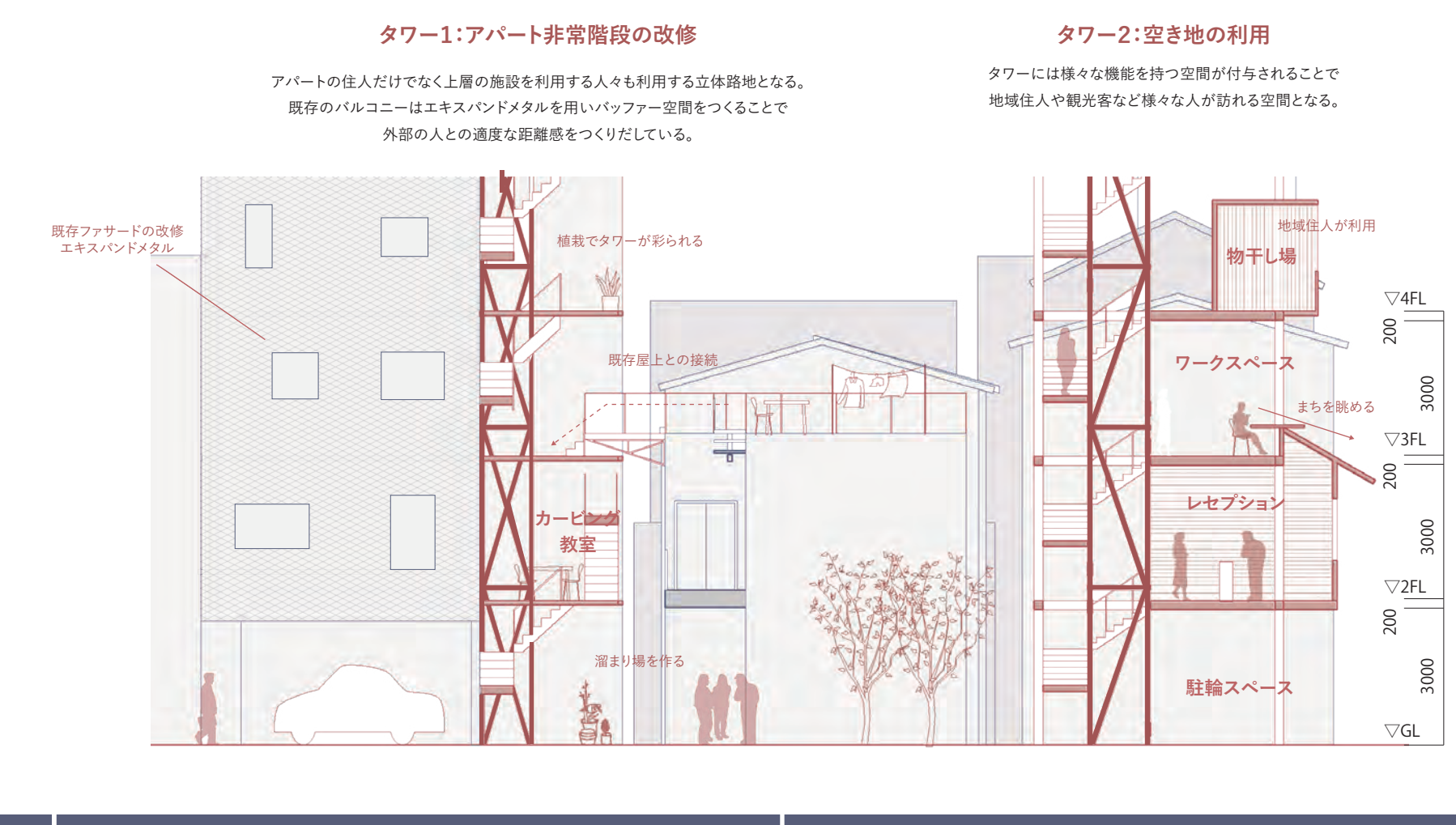
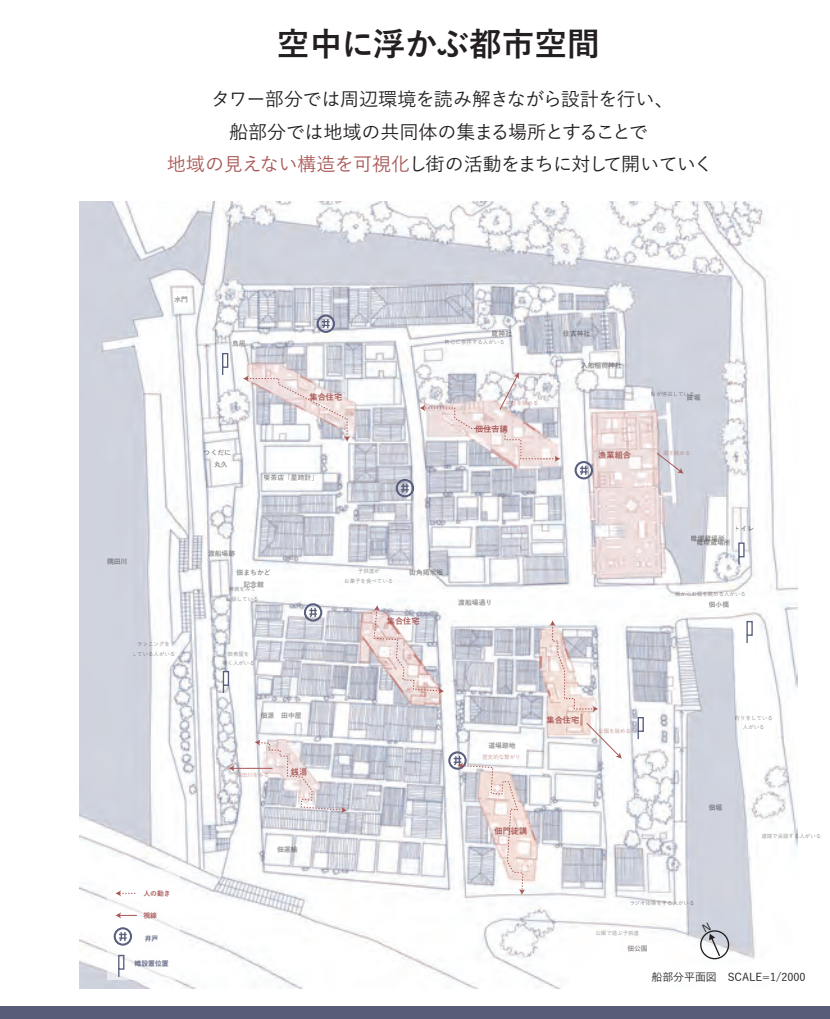
都市としての転換期に差し掛かっている東京で島のような都市空間をつくることで都市に輪郭を与え、人と人、人と土地を結びつけるようなものがつくれないだろうか。



Whole Plan

Tower Section

Ship Section



Case01 佃住吉講 (機能: 集会所・資料館・宿泊施設)

Case02 佃門徒講 (機能: 集会所・保育所・宿泊施設)

Case03 漁業組合 (機能: 魚市場・宿泊施設・集合住宅)

Case04 銭湯 (機能: 銭湯・ランドリ)

Case05 集合住宅 (機能: 集合住宅)

